

地域医療



かさはらのりひろ
笠原規弘議員
が町に問う！

広域的な医療の研究を

答弁 関係市町村と支援の在り方を研究します

指し取り組んでいます。

部活動への支援体制を

Q 上位大会への出場は、保護者にとつて相当な経済的負担となる。

A 東中学校の体育後援会が解散するようだが、町が代替する考えは。

A 教育長 物価高等の社会情勢に応じるよう、各種大会等参加費補助金要綱を見直します。

学童跡地



すずきひでお
鈴木秀尚議員
が町に問う！

地域の児童館として活用を

答弁 公共施設を統合する観点から難しいです

道の駅のさらなる進化を

Q 「道の駅おがわまち」と分かる映えスポットを考えられないか。

A にぎわい創出課長 指定管理者がフォトスポットとなるモニコメントの設置を検討しています。

AQ 和紙コーナーの特別展示は。にぎわい創出課長 今後多様な展示を企画していきます。

Q 国内の医師数は増加しているものの地域偏在が課題となっている。当町の現状と、将来の予測は。

A 健康福祉課長 高齢化が進む当町では、総人口が減少傾向にありながらも、医療の相対需要は高水準を維持すると予測されます。

Q 地域医療を根源的に維持していくために、広域的な地域医療の在り方を研究すべきではないか。

A 健康福祉課長 人口減少が見込まれる将来を見据え、関係市町村と連携を図りながら地域医療の支援の在り方を研究していきます。

林野火災の撲滅に向けて

Q 比企広域市町村圏組合の火災予防条例改正を促すべきでは。

A 防災地域支援長 現在調整しており、今年度中の条例改正を目



自己ベスト更新に励む駅伝部員

Q 子どもの居場所は、徒歩や自転車で行ける場所にあり、日常づかいできることが望ましい。学童の跡地を児童館として活用できないか。

A 政策推進課長 公共施設を整理・統合する観点から難しいです。居場所づくりには、関係者の協力が不可欠です。

公民館の施設設備の更新は

Q 和室の畳の色や壁紙の剥がれ等が見受けられるが。

A 生涯学習課長 公共施設等総合管理計画で、残す施設については費用をかけて、機能を維持し魅力ある施設として活用することが求められます。優先順位をつけて対処していきます。



映えるスポットの工夫を (桶川道の駅)

買物支援



やまぐちかつし
山口勝士議員
が町に問う！

一日も早い事業の実現を

答弁 「移動販売車」実現へ協議を重ねます

Q 高齢者の各種アンケートでも「買物支援」への希望が大きい。一日も早く「買物支援」「移動販売車」を実現すべきではないか。

A 長生き支援課長 移動販売車による買物支援をすることで、外出や交流の機会が増え、フレイル予防や閉じこもり予防など介護保険の抑制にもつながると捉えています。社会福祉協議会が竹沢地区で、地域との「福祉懇談会」から、丁寧な実態を把握し「移動販売車」実現への調整を進めていることも承知しています。引き続き移動販売の普及に向けて、調整・協議を重ねたいと考えています。

一方「まだ行ったことがない」「混んでいるようだからもう少したつてから」という町民の声も多い。「町民デー」などの工夫はできないか。

A にぎわい創出課長 現在まで町内外の多くの方の「利用があり、時間をかけて遠方から来る方もいるので「小川町民デー」としての企画は難しいと考えます。

教育DX



たばたよしなり
田端良成議員
が町に問う！

当町の基本的な考えは

答弁 一人一人の学びをより豊かにすることです

Q 教育DXに対する当町の基本的な考えは。

A 学校教育課長 一人1台端末やネットワーク環境を効果的に活用し、児童生徒の一人一人の学びをより豊かにすることを基本的な考えとしています。

教師からの一方向的な授業だけでなく、児童生徒が意見を共有し、考えを深め合う双方向型・協働型の学びが進んでいます。

例えば、小学5年生の算数「多角形の作図」や6年生の理科「電気の性質の働き」などで、ICT機器も活用し、友達と試行錯誤しながら、自分の考えを確かめ、よりよい方法を探ろうとしています。児童生徒が自ら課題を発見し、考え、解決していく力の育成を目指しています。

Q SNSやテレビ放映で、道の駅の評判や情報は広がっている。

町民が実感する道の駅に



笠原地区地域福祉懇談会で課題を共有

Q 当町において、プログラミングの授業は実施しているか。

A 学校教育課長 国の学習指導要領に基づき、プログラミング授業を実施しています。

授業では、目的を達成するために、どのような手順で考え、組み立てるかという論理的思考力を身につけることを目的としています。



DXで進む双方向型・協働型の学び

8か月でこんなに仲良くなれるとは！新校になって、より活気あふれる学校になりました。(若壽光希先生)



お互いの体と心を大切に、協力して学校生活を送っています。(関口安希先生)



笑顔と活気があふれる学校にしていってほしいです。(事務 小林裕介さん)



今まで違う学校の生徒同士だったとは思えないほど仲が良くて驚いています！(松本沙耶香先生)



小川町議会だよりは

見出しに「ダブル」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。